



平成 26 年 5 月 26 日
ストラスブール研究連絡センター

フランス高等教育研究省（MESR）

● 「フィオラゾ前大臣、国民教育・高等教育・研究大臣付高等教育・研究担当大臣に任命」
2014 年 4 月 9 日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ前・高等教育研究大臣は、国民教育・高等教育・研究大臣付高等教育・研究担当大臣に任命された。

・フランス高等教育研究省 “Geneviève Fioraso, secrétaire d’État à l’Enseignement supérieur et à la Recherche” (2014 年 4 月 9 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid78801/genevieve-fioraso-secretair-e-d-etat-a-l-enseignement-superieur-et-a-la-recherche.html>

● 「研究政策：討論会の開催」

2014 年 4 月 9、10 日、ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣は、「研究政策のための科学技術優先事項」に関する討論会を開催する。本会合には科学界および大学関係者を中心に、300 人以上の参加者が集い、2014 年夏に決定される研究政策 (S. N. R.) 構築の重要なステップとなる。アモン大臣は、基礎研究の重要性、基礎研究は社会が求めている研究の方向性と対立しないこと、研究費の聖域化の必要性、共同研究の奨励等と呼びかける。

・フランス高等教育研究省 “Stratégie nationale de recherche : ouverture du colloque de restitution des ateliers” (2014 年 4 月 9 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid78783/s.n.r.-ouverture-du-colloque-de-restitution-des-ateliers.html>

● 「Ali Saïb 氏にレジオン・ドヌール 5 等勲章を授与」

2014 年 4 月 14 日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣立会いの下、Ali Saïb エクス - マルセイユ大学区長にレジオン・ドヌール 5 等勲章を授与した。氏の、フランス高等教育、研究、国民教育への貢献が評価された結果の受勲となった。

・フランス高等教育研究省 “Remise de la Légion d’Honneur à Ali Saïb, Recteur de l’académie d’Aix Marseille” (2014 年 4 月 18 日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid78972/remise-de-la-legion-d-honneur-a-ali-saib-recteur-de-l-academie-d-aix-marseille.html>

● 「フランス - チュニジア協定に署名」

2014年4月28日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、Agoranov インキュベーター訪問の際、チュニジア共和国の国家元首 Mehdi Jomaa 氏立会いの下、フランス - チュニジア間の2協定に署名した。

第1協定では、両国のインキュベーターの交流を強化して、研究成果活用した革新的企業の創設を促す。Agoranov はピエール&マリー・キュリー大学、パリ・ドフォーヌ大学、エコール・ノルマル・シュペリエール、パリ・テックによって2000年に創設され、2010年にINRIA が加わった、革新的テクノロジー企業の公的インキュベーターである。過去13年間で、238件のプロジェクトを育成し、それにより210社の企業が創立され、約2400人分の雇用と2億7000万ユーロの民間ファンドが実現した。

第2協定では、既存の協定を更新し、工業学校、ENSTA - パリ・テックとチュニジア国立工業学校 (ENIT) のパートナーシップを拡大した。

フランスは、研究所の提携と科学論文発表で、チュニジアの第1パートナーであり、今回の協定締結により、欧州 - 地中海沿岸地域の協力関係の強化に努める。

・フランス高等教育研究省 “Signature d’accords entre la France et la Tunisie” (2014年4月28日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79050/signature-d-accords-entre-la-france-et-la-tunisie.html>

● 「スタージュ（企業等における研修）に関する法案、元老院で議論始まる」

2014年4月29日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、元老院での討論会の際、研修指導、発展、研修生の地位向上に関して、意見を述べた。概要は以下の通り。

フランスでは近年、企業研修の推進等、若者の就職を支援する取り組みを行ってきた。しかし、現在の企業研修推進状況は、2006年、2009年、2011年と相次ぐ立法措置により、複雑を極めている。これを解消するために、新法案では、研修に関する措置の再編成と教育法における再体系化に取り組む。新法案では、「研修が教育の一環であること」を前提にした、以下の点に留意する。

- ・研修が大学の教育課程外や卒業後に行われるべきではない。
- ・研修は、優先的に考慮され、既定の教育目標に則って評価させなければならない。
- ・研修は6ヶ月以上の期間を要する場合は教育上の妥当性を欠くので、それ以下に収めるべきだ。
- ・研修は、教員と研修受入れ機関のチューターによる2重のフォローアップを行わなければ

ばならない。

・研修生は、サラリーマンと同列に置かれることなく（特別手当は給与ではなく、研修協定は雇用契約ではないため）、これまで以上に保護されるべきだ。

・フランス高等教育研究省 “Début de la discussion au Sénat sur la proposition de loi encadrant les stages” (2014年4月30日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79076/debut-de-la-discussion-au-senat-sur-la-proposition-de-loi-encadrant-les-stages.html>

● 「トゥルーズがん研究所の発足」

2014年5月5日、トゥルーズがん研究拠点がん大学研究所 (I. U. C) が発足した。がん腫学における先端治療を施す。本新病棟には306床あり、1000人の医療従事者、300人の大学教員、研究者、エンジニア、テクニシャンが勤務する。

・フランス高等教育研究省 “Ouverture de l’Institut universitaire du cancer Oncopole de Toulouse” (2014年5月6日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid79139/ouverture-de-l-institut-universitaire-du-cancer-oncopole-de-toulouse.html>

フランス国立科学研究センター (CNRS)

● 「Alain Fuchs CNRS 会長」再任

フランス閣僚会議は CNRS の会長に Alain Fuchs 氏を再選した。任期は向こう4年間。化学者である Fuchs 氏は密閉流体の分子モデリング・シミュレーションを研究テーマとしてきた。同氏はパリのピエール・マリー・キュリー大学の教授と CNRS のシニアリサーチチャーを務め、2010年まではパリの ENSCP の校長であった。また、オルセーの化学物理研究室を創始したことで知られている。1期目では Fuchs 氏は CNRS とフランスの大学、グランゼコールが共同研究を通じて連携を強くすることに注力し、未来の重要なアカデミックセンターの創出をリードした。また、CNRS はフランスの「未来投資」計画の鍵を握るものととらえてきた。これからの2期目では Fuchs 氏は3つの目標を掲げている。フランスにおける研究の存在が国際的に認識されるよう一層力を入れること。境界領域で新しい研究分野を創出すること。そして、技術移転を促進・強化すること。Fuchs 氏は CNRS が一般市民に認識され、かつ国家の知識と反映を増進する基礎研究を行うという姿勢を堅持するだろう。

・CNRS International magazine “CNRS President Alain Fuchs Reappointed” No 33, Quarterly April 2014

<http://www.cnrs.fr/fr/pdf/cim/CIM33.pdf>

● 「欧州発明家賞最終候補者」

Philippe Cinquin 氏、Serge Cosnier 氏とその研究グループが、2014年6月17日に発表される欧州発明家賞にノミネートされた。Philippe Cinquin 氏は、医療インフォマティクスのパイオニアとして、コンピューター制御を利用した外科手術手法の開発に貢献した。氏は、2013年CNRSイノベーション賞を受賞している。

・CNRS LE JOURNAL “Prix de l’ inventeur européen: Philippe Cinquin en finale !” (2014年5月9日)

<https://lejournalejournal.cnrs.fr/articles/prix-de-linventeur-europeen-philippe-cinquin-en-finale>

● 「2014年イノベーション賞受賞者」

2014年6月18日、パリでCNRSイノベーション賞の授賞式が行われる。本賞は3年前に創立され、技術的・経済的・社会的に優れた業績をもつ研究者を受賞する。今回の受賞者は以下の通り。

・Barbara Demeneix 氏 (生物学者、パリ MNHN 分子多様性・発生・制御部ディレクター)、環境汚染物質を *in vivo* で検出する手法の開発

・Claude Grison 氏 (化学者、CNRS/モンペリエ第2大学教授)、植物による鉱山地域の浄化と植物が吸収した金属類の利用に関する特許

・Didier Roux 氏 (物理化学者、Saint-Gobain グループイノベーション研究ディレクター)、有効成分を包含したマイクロカプセル

・Valentina Lazarova 氏 (エンジニア、Suez Environnement プロジェクトリーダー、シニア専門家)、下水処理と再利用に関する手法の確立

・CNRS LE JOURNAL “Médaille de l’ innovation: les lauréats 2014” (2014年5月12日)

<https://lejournalejournal.cnrs.fr/articles/medaille-de-linnovation-les-laureats-2014>

フランス国立研究機構 (ANR)

● 「フランス - メキシコ協力協定の再開」

2014年4月10、11日、メキシコ合衆国大統領訪問の際、ANRは、メキシコの対応機関である科学技術評議会 (CONACYT) との新協定に署名した。本協定は、フランス - メキシコ間の研究コラボレーションの強化と両国のグループが行う共同研究プロジェクトの財政援助の促進を目的としている。

ANR と CONACYT は、2008 年に協定を結び、2009 年から 2012 年まで毎年研究公募を行っていた。

・ANR “Recherche sur projets, relancer la coopération franco-mexicaine” (2014 年 4 月 14 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/lancement-dun-partenariat-europe-ameriques-en-sciences-humaines-et-sociales/>

● 「ハイチ高等教育会合への参加」

2014 年 4 月 10、11 日、ANR は、ハイチ国民教育・職業教育省主催の第 1 回ハイチ高等教育会合に参加し、2010 年に開始された Frash Haïti プロジェクトの経験を共有し、ANR の貢献を確認した。Frash プログラムは、2010 年にハイチを襲った自然災害後の緊急要請に応える形で開始された。

ハイチ政府は、高等教育の改善と現代化を目指した戦略強化を重視しており、本国の専門家に加え、欧州やカリブ地域、北米からの専門家も招いて、高等教育に関する意見交換を行った。

・ANR “Premières assises haïtiennes sur l’enseignement supérieur” (2014 年 4 月 22 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/premieres-assises-haitiennes-sur-lenseignement-superieur/>

● 「フランス - 台湾科学大賞候補者募集」

科学アカデミーは、2014 年フランス - 台湾科学大賞授与に向けて、候補者の募集を開始する。本賞は、全ての研究分野を対象に、フランス - 台湾の協力関係促進を目指して行われる。候補者の申請は 2014 年 6 月 30 日まで受け付けられる。

・ANR “Appel à candidature du Grand Prix scientifique franco-taiwanais” (2014 年 4 月 25 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/appel-a-candidature-du-grand-prix-scientifique-franco-taiwanais/>

● 「社会科学分野で国境なき研究スペースの創設」

ORA (Open Research Area) イニシアチブは、ANR を含む、社会科学の国際的研究促進を目指した研究財政機関が結集して、共同運営している。ドイツ、米国、フランス、オランダ、英国が参加する「ORA plus」では、総額 1500 万ユーロを計上して、15 件の社会科学プロジ

エクトを支援する。ANR は、フランスのグループが関連する 5 プロジェクトを、100 万ユーロを計上して支援する。

- ANR “ORA : Construire un espace de recherche sans frontières en sciences sociales” (2014 年 5 月 7 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/ora-construire-un-espace-de-recherche-sans-frontieres-en-sciences-sociales/>

フランス国立農業研究所 (INRA)

● 「TWB と TOTAL、合成生物学での戦略的パートナーシップに署名」

INRA が支援しているプレ産業デモンストレーター、Toulouse White Biotechnology (TWB) が、総合石油エネルギー企業 TOTAL と、第 1 バイオソース材料から、プラスチック化学の目的分子合成に関する戦略的コラボレーション協定に署名した。

本取り組みでは、LISBP (生物システム手法工学研究所) の研究グループと Total Energies Nouvelles バイオテクノロジー研究開発グループは、様々な再生可能炭素源から化学中間産物を生成できる「工場細胞」とも言うべき、新たな細胞株の開発に取り組む。

- INRA “TWB et TOTAL signent un partenariat stratégique en biologie synthétique” (2014 年 4 月 29 日)

<http://www.inra.fr/Entreprises-Monde-agricole/Nos-partenariats-nos-projets/Toutes-les-actualites/TWB-TOTAL-partenariat-biologie-synthese>

● 「欧州 PROHEALTH プロジェクト」

2013 年 12 月に開始した INRA を含む欧州 11 カ国の 22 機関 (民間、公的、両機関を含む) が参加する PROHEALTH プロジェクトでは、豚と家禽の飼育生産性の向上、環境への影響の制限、生産者の収益保護を目指す。本研究プロジェクトの補助金の大半は欧州連合から支給されており (1190 万ユーロ中 900 万ユーロ)、家畜飼育の生産性と持続可能な開発を両立させる新たな道を模索する。

フランスからは INRA の他、CCPA グループ、Zoetis が参加する。

- INRA “Lancement du projet européen PROHEALTH : concilier systèmes de production animale et développement durable” (2014 年 5 月 7 日)

<http://www.inra.fr/Entreprises-Monde-agricole/Nos-partenariats-nos-projets/Toutes-les-actualites/PROHEALTH>

フランス国立情報学自動制御研究所 (INRIA)

● 「INRIA と Alstom が共同ラボを創設」

2014年4月7日、Patrick Kron Alstom 取締役社長と、Michel Cosnard INRIA 会長は、エネルギーと交通手段の供給システム、モデリング、応用シミュレーション分野における共同ラボを創設することを発表した。

Alstom は送電事業や鉄道車両などのインフラ事業を扱う企業で、本取り組みでは、Inria の研究成果と Alstom の産業応用力を活かして将来のエネルギー・交通市場を視野に入れた研究を目指す。

・INRA “ Alstom et Inria créent un laboratoire commun dédié aux technologies du numérique appliquées à l’ énergie et à la mobilité” (2014年4月7日)

<http://www.inria.fr/innovation/actualites/laboratoire-commun-inria-alstom>

● 「INRIA とマイクロソフト社のコラボレーション更新」

2014年4月9日、Jean-Philippe Courtois マイクロソフト インターナショナル社長と Michel Cosnard INRIA 会長は、両組織のパートナーシップを4年間延長することを発表した。

INRIA とマイクロソフト社は、2006年に情報科学の基礎研究共同ラボを新設し、世界レベルの官民一体の研究センター創設を目指した。過去7年間の共同研究が充実したものだとして、今回更新を決定した。今後は、画像や動画の処理、ウェブ上のデータの秘密性保護など、Big Data とその応用に関する新たなデジタル課題にも取り組む。

・INRA “ Inria et Microsoft prolongent leur collaboration” (2014年4月9日)

<http://www.inria.fr/actualite/actualites-inria/inria-et-microsoft-prolongent-leur-collaboration>

キャンパス・フランス (フランス政府留学局・日本支局)

● 「日仏初の学位・単位相互認証協定に調印」

2014年5月5日、訪仏中の安部晋三総理大臣と仏オランダ大統領列席のもと「日本国とフランス共和国の高等教育機関における履修継続のための履修、学位及び単位の相互認証に関する協定」の調印式が行われた。署名者は日本側が国立大学協会(JANU)、フランス側がフランス大学長会議(CPU)及びフランス技師学校長会議(CDEFI)の3者。この協定には強制力はなく、学生交流に係る判断基準を提供するものであり、これにより日仏高等教育交流の更なる促進が期待される。

・Campus France “日仏初の学位・単位相互認証協定に調印” (掲載日の記載なし)

<http://www.japon.campusfrance.org/ja/actualite/%E6%97%A5%E4%BB%8F%E5%88%9D%E3%81%AE%E5%AD%A6%E4%BD%8D%E3%83%BB%E5%8D%98%E4%BD%8D%E7%9B%B8%E4%BA%92%E8%AA%8D%E8%A8%BC%E5%8D%94%E5%AE%9A%E3%81%AB%E8%AA%BF%E5%8D%B0>

・日本国とフランス共和国の高等教育機関における履修継続のための履修、学位及び単位の相互認証に関する協定

http://www.japon.campusfrance.org/sites/locaux/files/japon/ca_actualite/290872/Convention%20jp%20%28finale%29.pdf

・協定付属文書

http://www.japon.campusfrance.org/sites/locaux/files/japon/ca_actualite/290872/annexes%20jp%20%28final%29.pdf

以上